

薬連ハイライム

第58回日本薬剤師会学術大会（京都） 日薬連盟ブースを出展します

2025年10月12日（日）、13日（月・祝）に京都府で開催される第58回日本薬剤師会学術大会において、日本薬剤師連盟は連盟活動に関するブースを出展いたします。

本大会の日薬連盟ブースには、薬剤師議員の本田あきこ参議院議員、神谷まさゆき参議院議員が来場します。この機会にぜひ、日頃の薬剤師業務における意見、実現したい（して欲しい）ことなどを直接伝えて意見交換をしませんか。

両議員との写真撮影時には大会名の入った手持ちボードなどを用意しておりますので、記念撮影にぜひご利用ください。

日本薬剤師連盟の広報チャンネルである「薬連タイムズ」においてライブ配信も予定しておりますので、事前にInstagram、Xのアカウントフォローをお願いします。両議員のブース滞在時間などもInstagram、Xに

て事前告知いたします。

併せて、連盟活動に関する資料の配布に加え、白衣やカバン、帽子につけるバッジなど日薬連盟グッズの配布も予定しております。皆様のご来場をお待ちしております。



オレンジ日記

レボノルゲストレル製剤の スイッチOTC化

参議院議員・薬剤師
本田 顕子



8月末であっても残暑という表現が相応しいか疑わしい程の猛暑、酷暑の日が続いています。その最中の8月29日、いわゆる「緊急避妊薬」を薬剤師が責任をもって直接取扱うことが決まりました。

平成29年にスイッチOTC化は時期尚早とされましたが、第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月閣議決定）にて、予期せぬ妊娠の可能性が生じた女性が処方箋なしに適切に使用できることの検討が求められ、その後当事者などからのヒアリングやモデル的調査研究の実施等々、丁寧な検討が重ねられて今回の結論に至りました。

販売が始まると、面前服用、服用3週間後には妊娠検査薬の使用または医療機関の受診を通じて妊娠有無の確認を求めると、薬剤師の職能を遺憾なく発揮していただくことになります。加えて、性交同意年齢（16歳）未満の方や性犯罪被害等が疑われる場合のワンストップ支援センター・児童相談所等への連絡・通報や性犯罪の証拠保全の必要性に関する判断など、社会的要請に広く応えていくことになります。

研修受講等を通じて薬剤師が服用者の「安全窓口」になることを願っています。

女性薬剤師による対応を願う服用者の気持ちと男性側の圧力等からの危険回避を両立させる方策も必要です。本剤を服用せざるを得ない状況を生み出す社会的課題の解決策を含め、10月の「薬と健康の週間」や11月の「女性に対する暴力をなくす運動」などの啓発機会に即して熟思熟慮いたします。

政 幸 だ よ り

原薬工場を視察

参議院議員・薬剤師
神谷 政幸



令和7年7月31日、生化学工業株式会社様の久里浜工場を視察させていただきました。こちらの工場は1947年に開設され、医薬品の原薬となる高純度のヒアルロン酸やコンドロイチン硫酸を製造されています。久里浜工場の特徴は、抽出と発酵による原薬製造に特化していることです。創業当時から長年培ってこられたコンドロイチン硫酸の高度な抽出・精製技術が現在まで受け継がれており、ヒアルロン酸の原料となるニワトリの鶏冠やコンドロイチン硫酸の原料となるサメ軟骨から、高純度の原薬を効率的に製造するノウハウを有しておられます。

工場で生産するヒアルロン酸やコンドロイチン硫酸の製造概要についてご説明いただいた後、製造棟の工場設備の一部を視察させていただきました。原料から抽出・精製する高い技術力は、原薬を製造する長年の経験により培われた技術やノウハウが、数多く活かされていました。また、いずれの原薬も生物を原料とすることから、その品質や安全性を確保するための製造工程はもちろんのこと、工場視察の後に訪問させていただいた、品質管理部門における厳格な品質管理にも、高度な技術が使われていました。定量試験を行う技術者は、社内独自の資格試験に合格しないと定量試験やパソコンにもアクセスすることができません。また、検査における試薬の秤量を行う過程はバーコードで管理され、ログの改ざんができないようなシステムを導入するなど、信頼性を高める活動に尽力されていました。

薬価が下がり続け、人件費やコストが上昇する中、国産の原料を用いた品質管理体制を徹底的に整備し、医薬品の安定供給と国内製造に取り組み、先発医薬品の生産供給に取り組むプライドと信頼性を高める活動に力を注ぎ、人々の健康といのちを支える医薬品を製造する現場としての矜持を持つ姿に、改めて敬意を表する次第です。今回の視察をしっかりと政策に反映してまいります。